

つわの まさこ市政レポート

2023.7 vol.1

発行：さいたま市議会議員 津和野眞佐子



さいたま市議会議員の津和野眞佐子です。

私は、地域の皆様からの要望を受け、今後の課題として多かったものを以下に掲げ、できる限り実行していく考えです。

「誰もが自分らしく生き生きと長生きして暮らせる地域共生社会の実現」「安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり」「災害に強い都市基盤の整備と災害対策」「さいたま市の特性を生かした新たな産業の創出と地域産業の振興」

その第一歩として、初めての議会となる6月定例会（保健福祉委員会）において初の質問を行いました。今号ではその内容（一部抜粋）を2頁に掲載しましたので、どうぞ一読くださいませ。

市民の皆様が安心して住み続けたい街となるよう、これから様々な政策提言をしてまいります。どうぞ忌憚のないご意見・ご感想、また市政への要望などをお寄せください。

さいたま市議会議員 津和野眞佐子



近年頻発する豪雨被害について

本州付近に停滞した前線と台風第2号の影響により大雨となり、6月1日23時から3日10時までの総降水量はさいたま市内（桜区）で235.0mm、2日の最大1時間降水量は36.0mmを記録しました。

この豪雨で、市内では道路冠水が113件（南区19件）、床上浸水が5件（南区1件）、床下浸水が35件（南区1件）となり、また南区では一時約480件に及ぶ停電が発生し、市民の安心・安全を大きく脅かす事態となりました。



▲JR武蔵野線が一時運転見合わせとなり、一時入場規制がかかる事態となりました。帰宅ラッシュが重なるなどもあり、駅構内は人が溢れていました。



内水氾濫への対策強化を

今回の水害の主な要因は、排水が間に合わずに起こった内水氾濫です。今後は河川、道路、公園等を管理する関係機関がより一層連携し、効率的・効果的な整備を進めるとともに、ハードとソフトを組み合わせた総合的な対策の推進が必要と考えます。

▶令和5年6月2日から的大雨及び台風第2号の被害に見舞われた方に対する支援については市のホームページをご覧ください。QRコードからもアクセスできます。

<https://www.city.saitama.jp/001/011/015/008/p098239.html>

さいたま市議会
女性活躍推進議員連盟が発足

6月14日、さいたま市議会女性議員16名による女性活躍推進議員連盟が発足いたしました。議員定数60名のうち、女性議員の割合は26.7%となりました。政党や会派を超えて、すべての女性が個性や能力を十分に発揮できる社会の実現を目指すことを目的に事業を行ってまいります。

これまでいただいた相談の中には、「いつまでも生き生きと社会とのつながりを持ち続けていきたい」「まだ体が元気なうちにいろいろ活動したい」など、多くの要望がありました。この議員連盟の皆様と協力し、これからしっかり政策提言させていただきます。

向小学校、善前小学校内に
放課後児童クラブが開設します

保護者の皆様から多くのお声をいただいております。向小学校内、善前小学校内に、放課後児童クラブが開設いたします。実施設計にむけて動き始めましたので、再来年に入学を予定されている保護者のみなさま、どうぞご安心くださいませ。

向小学校、善前小学校、共に約25人程度の受け入れ可能なクラブ室の整備を進めてまいります。

改修工事にかかる予算が来年2月の議会で承認された後、改修工事がスタートいたします。

令和7年4月開設に向けて整備の遅れがなく円滑に進むよう、引き続きしっかり注視しながら取り組んでまいります。



議案外質問を行いました。

6月定例会では市議会議員として初めて、同委員会において議案外質問を行いました。以下、その概要となります。

医療費等が高額になった場合の支援制度について



Q 高額医療に関する「限度額適用認定」とは、一定の基準を満たしていれば医療機関での窓口払いが上限額で済むという制度です。しかしその対象にならない事例もあると聞きます。

本市在住の50代の男性から相談がありました。現在心臓移植の順番待ちをしています。ドナーが決まった時点で、ドクターのチャーター便費用などを支払わなければならないそうです。近県で3~400万、九州地方だと7~800万かかるそうです。本市での支援制度などをお示してください。

A 埼玉県社会福祉協議会が実施する「生活福祉資金貸付制度」があります。一定時の条件を満たす方に低利または無利息で資金貸付をする制度です。医療費の自己負担、療養に必要な経費、療養期間中の生計を維持するための経費等が対象になります。申し込みは社会福祉協議会の各区事務所となり、申し込みから貸付まで1~2か月ほど要します。まずは各区事務所にご相談いただくことになります。

Q 貸し付け制度を利用されている方はどの位いるのでしょうか？

A さいたま市社会福祉協議会の実施状況は、令和4年度は0件、令和3年度は2件の利用があったそうです。

■貸付制度は申請してから1~2カ月時間を要するとのこと。申請される方の不安が少しでも軽減され、一日も早くお手元に届くように、スムーズな窓口対応と相談体制をお願いしました。

▶さいたま市社会福祉協議会が行う経済的支援事業については社協ホームページからご確認ください。QRコードからもアクセスできます。

<https://www.saitamashi-shakyo.jp/>



浦和美園の総合病院について

Q 地域の方々から「延期のお知らせばかり」「本当にくるの、こないの?」という声を伺います。現時点での計画と進捗、できましたら開院までのスケジュールを伺います。

A 令和4年1月より基本設計を進めており、令和5年12月から実施設計を、令和7年4月には建設工事の着工を予定しています。また令和4年度からは副知事と副市長との定期的な連絡会議を開催し、情報共有を行っています。令和9年11月開院というスケジュール通り進むよう、県との連携を密に取り組んでまいります。



Q 800床という大規模な大学附属病院となると、地域医療との連携が必ず必要になってくるかと思います。どのようにお考えですか？

A 県が実施する地域医療構想調整会議では、市内の各医師会、病院団体の他、学校法人順天堂もオブザーバーとして参加しており、その中で情報提供及び意見交換をし、地域医療機関との連携を深めていけるよう進めたいと考えています。

▶(仮称)順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター敷地利用計画図



■これ以上スケジュールの遅れがないよう、県との連携を密に進めるようにお願いしました。

さいたま市政に関する皆さまのご意見・ご要望をお寄せください。

津和野 眞佐子

さいたま市南区大谷口674-4-102

Email : m.tsuwano@gmail.com

TEL : 090-8050-1182

<https://www.instagram.com/m.tsuwano>

▶instagram

